

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

討議年月日:令和4年 3 月 2 日

公表:令和4年 4月 1日

事業所名 スタディキッズ東校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	・利用児が互いに視界に入らないように机の向きを工夫している。 ・お子様に利用いただくスペースを配慮するなどして、蜜にならないように心がけている。	
	2	職員の配置数は適切である	6	0	利用人数と十分な職員の配置を考えている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	1		・段差がある場所について今後どうしていか話し合いたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	・職員で話し合う機会を増やしていく予定である。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	/	/	/	/
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	・職員会議や指導により学ぶ機会がある。	・今後、ABA等の研修を受けてより知識をつけて支援していきたい。 ・マニュアル導入により業務内容が分かりやすくしていきます。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	・保護者様とフィードバックでお話をする機会を持っている。 ・相談支援等を行い、計画を再検討している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1	・サポートブックを職員で見えていくことで、利用児の状況の把握に努めている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	・定期的に会議を行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	・職員で話し合いプログラムを工夫している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0		・イベント等を定期的に行っているが、今後より機会を増やしていきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	・連絡ツールHUGを使うことで、保護者様も、職員も記録を見て支援内容を把握していくことが出来ている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	・保護者様との連絡を蜜にしていくために、話す機会や連絡ツールを使い保護者様の声を大事にしている。	

19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	6	0		
----	---------------------------------	---	---	--	--

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	1	・保護者様に学校の情報を聞く状況のため、今後、必要に応じて情報共有する場合に備えていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5		・契約時やアセスメント時に確認している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	1	・現在は行っていないが今後に備えていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	1	・現在は行っていないが今後に備えていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3	・職員も連携し、助言や研修を受ける機会を持っていきたいと思う。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	5	・今後参加する機会を持つ支援をかんがえていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	4	・今後参加する機会を持つ支援をかんがえていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	・療育の前後の時間を活用して保護者様とお話する時間を設けている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3	・ペアレント・トレーニングについてどう取り組んでいくかを今後の課題としていく。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5	・今後開催の機会を持つ支援をかんがえていく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	・保護者様がお話ししやすいようお声掛けしていく等行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		・連絡ツールを活用している。
	35	個人情報に十分注意している	6		・個人ファイルを利用児が来る時間は持ち出さない。支援室に持っていかない等徹底している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		・職員会議を行い、職員で周知し、定期的に保護者様と利用児の情報を共有する機会を持っている。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	2	・コロナの影響で、交流や行事が行えていないが、落ち着いた頃に行えるように企画を練っておく。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0	・連絡ツールにてお知らせしたり、支援室にマニュアルをおき、いつでも拝見出来るようにしています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	・毎月の避難訓練を実施することで、災害時の対応について意識を高めている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	・研修内容を職員に話していき、周知する機会を設けている。	・4月より、会議を行うようにする。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0		・教室内で、飲食する場合を考えて、確認をしっかりとしていきたい。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	・些細なことでも気づいたら書き、職員で考えていくようにしている。	